

楽天株式会社

第18期 株主通信

2014年1月1日～2014年12月31日

楽[®]天

[®]Rakuten

トップメッセージ



See around the corner

時代を越えた、 その先へ。

三木谷浩史

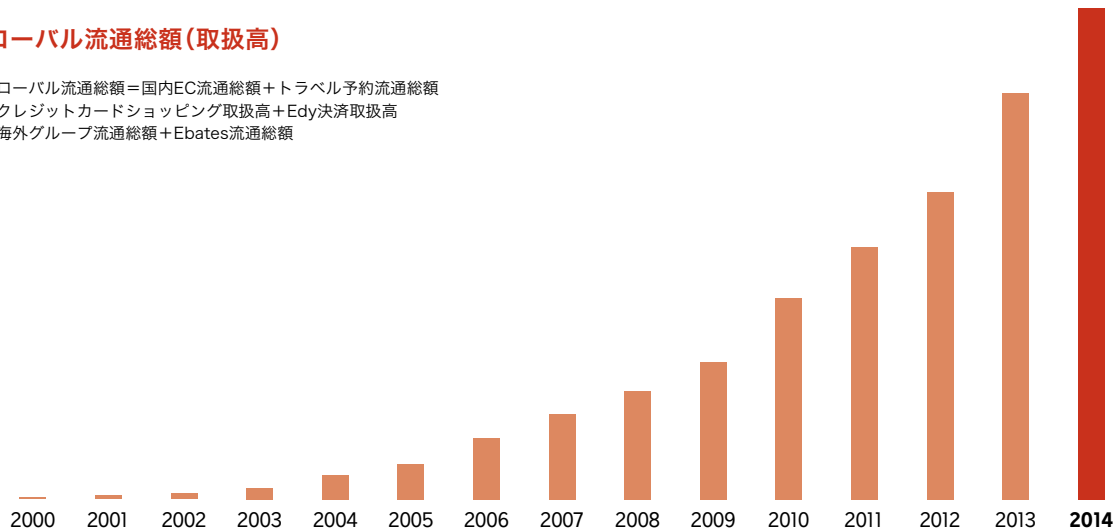
代表取締役会長兼社長
三木谷 浩史

2014年はwww(ワールド・ワイド・ウェブ)の誕生から25周年、楽天は創業から18年目の年でした。「インターネットで人はモノを買わない」といわれていた創業期から世界一のインターネットサービス企業を目指し、独自のビジネスモデルを構築してまいりました。そして、今やInternet of Things(モノのインターネット)という言葉に表されるように、すべてのモノはインターネットにつながるようになってきています。今まで当たり前とされてきた世の中の既存の枠組みを再定義するような非連続的なテクノロジーが次々に生まれ、モノからデジタルへの流れが加速度的に進んでいます。そのような環境下で、楽天は楽天Koboの買収を皮切りに、いち早く

6.7
兆円

グローバル流通総額(取扱高)

グローバル流通総額=国内EC流通総額+トラベル予約流通総額
+クレジットカードショッピング取扱高+Edy決済取扱高
+海外グループ流通総額+Ebates流通総額



デジタルコンテンツ事業へと参入しました。

2014年は、世界で5億人以上の登録ユーザーを持つ無料通話・メッセージアプリViberや米国オンライン・キャッシュバック・サイトのEbatesが新たにグループに加わり、楽天経済圏の基盤である会員は飛躍的に世界に広がりました。また、国境やビジネスの垣根を越え、さまざまなシナジーを発揮することで、グローバルでの流通総額(取扱高)は、約6.7兆円となりました。

モノではなく、サービスを提供する我々にとって、コミュニケーションのスムーズさは、グローバルなインターネット企業と伍していくために極めて重要な意味をもっています。社内公用語を英語化したことで、海外

のグループ社員やパートナー企業との情報交換、共同開発のスピードが劇的に向上し、グローバル展開加速の効果を発揮しています。

2015年には、本社を東京の二子玉川へ移転して国内のグループ企業を集約します。さらなる効率化とシナジーの創出を図るとともに、新たな企業文化を創造する節目となりますが、「人々と社会をエンパワーメントする」企業グループとして起業家精神を持って挑戦し続けます。

時代を先駆する革新的なインターネットサービスの提供と、持続的な成長を実現することで企業価値・株主価値の向上に努めてまいります。

特集1

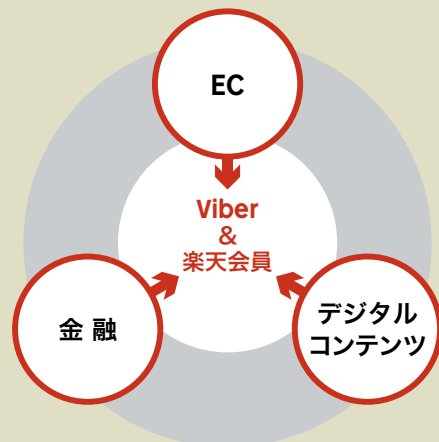
新たな広がりを見せる楽天経済圏。

楽天経済圏は、ユーザーである楽天会員をベースに日本で最も人気の高いポイントプログラム「楽天スーパーポイント」を通じて、EC、金融、デジタルコンテンツなどの事業を展開し、経済圏内でのサービス利用や高い回遊性を実現しています。そして、Viberがグループ入りしたことで、顧客ベースの拡大につながっています。

EC: オンラインショッピングモール「楽天市場」、総合旅行サイト「楽天トラベル」、海外EC、キャッシュバック・サイト「Ebates」など

金融: クレジットカード「楽天カード」、インターネット銀行「楽天銀行」、オンライン証券「楽天証券」、生命保険「楽天生命」、電子マネー「楽天Edy」など

デジタルコンテンツ: 電子書籍「楽天Kobo」、ビデオ・音楽ストリーミングサイト「Viki」、動画配信サービス「Wuaki.tv」、「楽天SHOWTIME」など



無料通話&メッセージアプリ Viber (バイバー)

高品質な 音声/ビデオ

最高水準を誇る セキュリティ

Viberは世界193カ国で5億人以上が会員登録しており、新興国を中心に急速に利用者数が伸びています。ユーザー同士であれば、世界中のどこでも無料で、高品質な通話やメッセージなどの送受信が可能です。現在、国内では固定電話宛の通話も無料※でご利用いただけます。通話やメッセージは暗号化されており、安心・安全です。

2014年秋、iPhone・Androidのスマートフォン端末でのビデオ通話機能および日本における楽天会員ID・楽天スーパーポイントとの連携が可能になりました。また、2014年12月よりソーシャルゲームプラットフォーム「Viber Games」を開始しており、今後はさらに魅力的なサービスを提供していきます。

楽天経済圏の基盤となる会員が世界に拡大したことで、グローバルに提供するプラットフォームの構築に大きく寄与します。



※ 固定電話(国内のみ)への無料通話は、キャンペーンでの適用

米国オンライン・キャッシュバック・サイト Ebates (イーベイツ)

米国最大級のキャッシュバック・サイト

キャッシュバックでさらに買い物を楽しく

Ebatesは、会員制オンライン・キャッシュバック・サイトの先駆者であり大手で、米国のほか、カナダ、韓国、ロシア、中国などで展開しています。さまざまなECサイトと消費者を結びつけるオープンなプラットフォームを擁しております。そのネットワークは多岐にわたり、米国では、専業ECサイト、ECに注力するリアル小売店、オンライン旅行代理店などECサイト上位3,000社のほとんどの商品がEbatesのサイトを通して購入できます。そして消費者は、多種多様な提携サイト上にある商品をEbates経由で購入することで、キャッシュバックが受けられます。

Ebatesのシステムと、楽天がこれまで培ってきた事業資産やテクノロジーと融合することで、世界でも独創的かつ革新的なECプラットフォームを構築し、世界のEC市場を牽引することを目指します。



超激安で高品質な 楽天モバイル

シンプルで手軽にスマートフォンを提供

MNP※1で簡単に他社からの乗り換え可能

スマートフォンをより手軽に低価格で利用したいと考えるお客様のニーズに応えるために、子会社のフュージョン・コミュニケーションズは、NTTドコモのLTE網を利用したMVNO(仮想移動体通信事業者)サービス「楽天モバイル」の提供を開始しました。「楽天モバイル」では、音声通話およびデータ通信に対応した(データ通信のみも提供中)SIMカード※2の提供と、SIMフリー端末とSIMカードのセットの2つのサービスを、月額料金業界最安水準※3で提供しています。さらに、フュージョン・コミュニケーションズが提供する格安電話サービス「楽天でんわ」やViberのアプリを使い分けることで通話料を安くすることが可能です。

「楽天でんわ」は、一般的に20円/30秒※4、6かかるスマートフォンの料金プランに対して、10円/30秒※6の通話料金で通話できるサービスです。



- ※1 携帯電話番号ポータビリティ
- ※2 電話番号を特定するための固有のID番号が記録されたICカード
- ※3 2014年10月28日時点 自社調べ
- ※4 【docomo:タイプXi、タイプXiにねん】【au:LTEプラン】【ソフトバンク:ホワイトプラン】をご契約のお客様が通話料割引オプションに加入していない場合(国際通話を除く)
- ※5 楽天モバイル2.1GBパックプランを利用し、楽天でんわ30秒10円プランで月に30分通話した場合
- ※6 すべて税抜表示

楽天市場の安心・安全。



安心・安全なショッピング環境を！ 楽天市場

安心・安全なショッピング・モールを目指し、各ステージでさまざまな取組みを行っています。



お客様サポート

楽天市場では、ご注文商品の補償サービス「楽天あんしんショッピングサービス」を行っています。楽天会員(登録無料)に対して、代金を支払った商品が届かない、商品が破損していたなどの場合、商品の購入代金を最高30万円まで補償します。

探す



出店店舗

楽天市場に出店するすべての事業者は、厳正な審査を経て出店しています。取扱商品については、法令順守に加えて独自のガイドラインを設け、違反の商品がないか日々確認しており、不適切な商品を見つけた場合の窓口も設けています。

買う



決済方法

さまざまな決済方法を提供しており、より安心に取引できるシステムを構築しています。楽天市場のクレジットカード決済プロセスはPCIDSS*に準拠し、銀行振込では「楽天銀行 楽天市場支店」に出店店舗専用口座を設けています。

届く



商品の配送

楽天市場は、商品発送日の目安やご注文商品の配送状況に関する登録を強化しています。発送時期の目安は、各商品ページなどに表示し、ご注文いただいた商品の配送状況は購入履歴から確認することができます。

※クレジットカードのアカウント情報や取引情報を保護するため、クレジットカードの国際ブランド5社が共通して採用する情報セキュリティ基準

連結決算のポイント

17期連続増収

2014年12月期の連結業績は、売上収益5,986億円(前期比15.4%増)、営業利益1,064億円(同17.9%増)となりました。

インターネット金融は利益が大幅に拡大

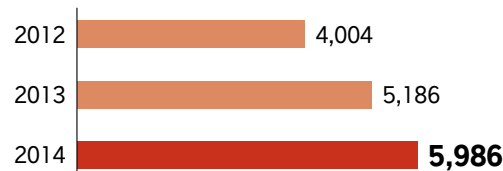
インターネット金融は、インターネットサービスとのシナジーが顕著である楽天カードの顧客基盤が一層拡大するなど、成長を順調に継続しております。

1株当たり配当金は4.5円に増配

1株当たり配当金は、昨年度より50銭増加し、4円50銭に決定いたしました。また、ROE(株主資本利益率)は、19.6%となりました。

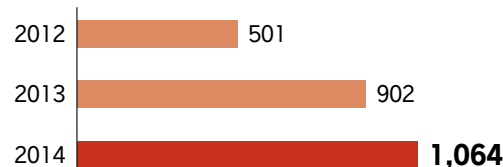
連結売上収益

(単位:億円)



連結営業利益

(単位:億円)



連結経営指標

(単位:百万円)

	第16期 2012年12月	第17期 2013年12月	第18期 2014年12月
売上収益	400,444	518,568	598,565
営業利益	50,055	90,244	106,397
税引前当期利益	49,106	88,610	104,245
当期利益	21,136	43,481	71,103
当期包括利益	31,574	67,881	123,822
基本的1株当たり当期利益(円)	15.59	32.60	53.47
希薄化後1株当たり当期利益(円)	15.56	32.41	53.15
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,687	1,485	111,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,440	30,584	△261,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,820	75,252	189,512
ROE(%)	9.2	16.0	19.6
1株当たり配当金(円)	3.0	4.0	4.5

事業概況

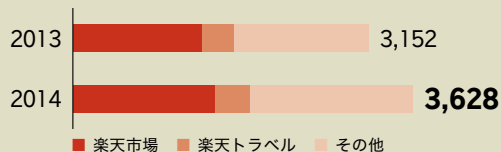
インターネットサービス

楽天市場、楽天トラベル、海外EC、電子書籍サービス、
その他国内外インターネットサービス



売上収益

(単位：億円)



セグメント利益

(単位：億円)



業績および主な取組み

楽天市場では、スマートデバイス向けサービスの強化や大型セールイベント「楽天スーパーSALE」などを実施しました。2014年3月に開催した「楽天スーパーSALE」では、日用品のほか、家電といった新生活に関する商材、お取り寄せグルメの販売が好調で、流通総額^{※1}が過去最高の644億円を記録しました。これらの結果、国内EC流通総額は、前期比13.7%増と高い成長を継続しました。

楽天トラベルでは、レジャー向け販売、法人、レンタカーなどの需要が好調でした。また、外国語サイトを大幅にリニューアルし、2020年のオリンピック開催に向けて訪日外国人旅行者向けサービスを強化しています。

海外ECでは、マーケットプレイス型サービスの展開に重点を置き、各国で出店者向けITプラットフォームの統合によ

り効率化を図った結果、導入後の流通総額増加に貢献しています。また、2014年10月にEbatesを子会社化し、業容の拡大につながりました。

コンテンツ事業では、将来の利益成長に向けた戦略投資を継続する一方、固定費削減なども実施し、業績は改善基調にあります。また、楽天Koboでは、幅広いコンテンツを拡充した結果、日本における電子書籍利用率No.1^{※2}となりました。

これらの結果、売上収益は3,628億円(前期比15.1%増)となりました。セグメント利益は、既存事業からの順調な利益増加に加え、将来成長が期待される先行投資事業の収益性改善などにより、588億円(同23.9%増)となりました。

※1 楽天市場(3月2日(日)午前0時～6日(木)午前3時59分まで)、楽天トラベル(同～10日(月)午前9時59分まで)の速報値合計

※2 2014年度 電子書籍コンテンツ市場動向調査(ICT総研)

インターネット金融

楽天カード、楽天銀行、楽天証券、楽天生命など

売上収益構成比

36.9%

(調整額は除く)

売上収益前期比

17.4%

↑UP

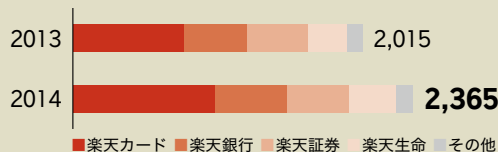
セグメント利益前期比

9.6%

↑UP

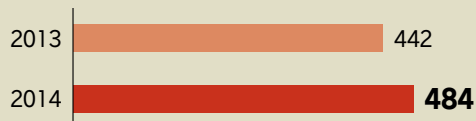
売上収益

(単位：億円)



セグメント利益

(単位：億円)



業績および主な取組み

グループシナジーとサービスの利便性向上などにより、金融サービスはますます安定的な利益成長を継続しています。

クレジットカード部門で顧客満足度6年連続第1位[※]を獲得した楽天カードは、順調な会員増加に伴い、ショッピング取扱高が前期比35.1%増加し、約3.5兆円に拡大しました。2014年4月には米国でFirst Bankcardと提携を開始し、また、2015年1月には台湾で「台湾楽天カード」の発行を開始するなど、楽天経済圏の海外構築を進めています。

楽天銀行では、楽天スーパーローンの残高が前期比23.5%で伸長しているほか、外貨定期預金や楽天銀行教育ローンなどを新たに開始したことで、より幅広いお客様のニーズに対応可能になりました。

楽天証券においては、収益の安定化につながる投資信託の残高が前期比49.1%増と、大幅に伸びており、加えて為替取引サービスなどによる手数料収入も順調に推移しています。

スマートフォンで簡単かつ安価にクレジットカード決済の導入を可能にする楽天スマートペイは、小・中規模のリアル店舗のニーズをとらえ順調に拡大しています。2014年12月には、ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社と連携してICカードとPIN入力による本人確認でスマホ決済ができる「楽天スマートペイIC・磁気対応カードリーダー」の販売を開始しました。

これらの結果、売上収益は2,365億円(前期比17.4%増)となり、セグメント利益は484億円(同9.6%増)となりました。

※ サービス産業生産性協議会 2014年度JCSI(日本版顧客満足度指数)

事業概況

その他

メッセージングおよび通信サービス、プロスポーツ事業など

売上収益構成比

6.6%

(調整額は除く)

売上収益前期比

18.7%

⬆️UP



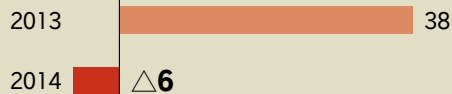
売上収益

(単位：億円)



セグメント利益

(単位：億円)



業績および主な取組み

楽天野球団においては、スポンサー収入や関連グッズ販売が順調に成長しました。また、主力選手の移籍に伴う譲渡金収入もあり、収益は堅調に推移しました。

2015年1月、主要企業スポンサーとして2004年から支援してきたJリーグクラブチーム、ヴィッセル神戸を運営する会社の全株式を取得して経営に参画しました。楽天グループのシナジーを最大限に生かし、効率的なマーケティング展開などによって経営基盤の強化を目指します。また、東北楽天ゴールデンイーグルスの運営を通じて、楽天グループが蓄積してきたプロスポーツ事業を含めた経営ノウハウも生かして、ヴィッセル神戸の強化と成長を図り、ホームタウンである神戸市を中心とする兵庫県の振興と、Jリーグの発展に寄与していきます。

楽天はプロスポーツ事業の運営や芸術・文化への支援を通じて、地域振興や経済の活性化に貢献していきます。

2014年3月に連結子会社化したViberにおいては、Viberパブリックチャットを2014年11月に、Viberゲームを2014年12月にリリースしました。将来の成長に向けた戦略投資を行っています。

これらの結果、売上収益は424億円(前期比18.7%増)となりました。セグメント損失は6億円(前期のセグメント利益は38億円)となりました。

楽天のCSR

楽天のCSRは、企業理念「Empowerment」のもと、お客様や取引先などさまざまなステークホルダーと連携し、事業を通じて、楽天らしく、社会の課題に応える活動を実践しています。

全国の児童養護施設の子供たちにプレゼントを届ける「楽天サンタプロジェクト」



全国にある約600の児童養護施設には、家庭環境上養護を必要とし親と離れて暮らす子供たち約3万人が生活しています。この子供たちにクリスマスプレゼントを届ける「楽天サンタプロジェクト」を実施しました。楽天市場の出店店舗のご厚意によりプレゼントを用意し、楽天の全執行役員や本社・支社の社員、出店者253名が直接施設を訪問するなど、587施設、28,567名の子供たちにお贈りしました。



楽天サンタプロジェクト

起業家精神の育成と地域活性を目的に 全国25校で実施「楽天IT学校」

2008年から継続・拡充している「楽天IT学校」。2014年度は、楽天市場の店舗や楽天トラベルの施設の協力のもと、商業高校の生徒を中心にECの実践的な授業を約一年にわたり実施しました。これから社会に出る高校生たちが、より早いスピードで成功を掴むことができるインターネットサービスを知ること、ビジネスに対する感性を磨くことを期待しています。



楽天IT学校甲子園

被災地支援から全国の子供たちの読書推進へ 「楽天いどうとしゃかん」

2012年に教育振興および東日本大震災の被災地復興の一環として、福島県にて「楽天いどうとしゃかん」の運行を開始しました。より多くの子供たちに本を読む環境を届けたいことから、2014年は、岐阜県、島根県、群馬県へと運行先の拡大を図り、13,197人の方に利用いただきました。(2015年1月現在)



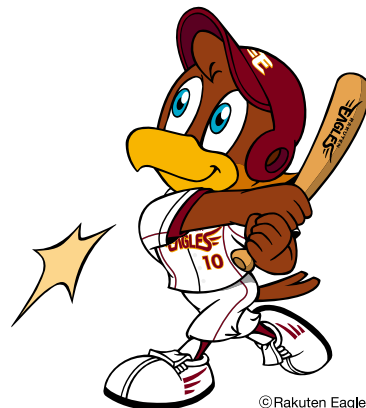
楽天いどうとしゃかん

株主優待

株主優待制度のご案内

楽天では、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社のサービスをより多くの方にご理解いただく機会を提供することを目的として、株主優待制度を導入しています。

この機会に是非、楽天グループのサービスをご利用ください。



© Rakuten Eagles

第18期 ご優待内容

- ① **楽天市場** 200円クーポン 4枚(総額800円)
- ② **楽天トラベル** 国内宿泊1,500円クーポン、および国内ツアー「楽パック」6,000円クーポン 各1枚

申込み期間：3月28日～6月30日

クーポンの発行時期、利用期限：

申込み時期	発行時期	利用期限
3月28日～4月30日	5月10日頃	8月10日頃
5月1日～5月31日	6月10日頃	9月10日頃
6月1日～6月30日	7月10日頃	10月10日頃

R RaCoupon

クーポンとは楽天グループのサービス「RaCoupon(ラ・クーポン)」のことをいいます。

- ③ **楽天Kobo** 対象期間中のコンテンツ購入がポイント3倍

申込み期間：3月28日～6月30日

ポイント3倍対象期間：7月1日～12月31日

※ 楽天Koboの電子書籍は、専用端末以外にもお手持ちのパソコン、タブレット、スマートフォンに無料アプリをダウンロードしていただくだけで、好きな本(小説、コミックなど)をすぐにお楽しみいただけます。

※ 毎月10万円までの電子書籍コンテンツ購入に対し、通常の3倍の楽天スーパーポイントを付与いたします。



- ④ **楽天イーグルス** 限定グッズを抽選で6名様にプレゼント

申込み期間：3月28日～6月30日

抽選・賞品発送時期：7月中旬

※ 当選者には、株主名簿管理人に登録されているご住所へ賞品を郵送いたします。

※ グッズの選択はお受けいたしかねます。



5 楽天イーグルス 公式戦観戦チケットを優待価格にてご提供

購入可能期間: 3月28日～2015シーズン中

購入可能枚数: 1試合につき8枚まで ※何回でもご購入いただけます。

対象試合: 2015シーズン中の楽天イーグルスが主催する一軍公式戦

対象チケット: バックネット裏席のほか、内野・外野指定席、自由席など、一般販売のチケット

※ 座席数には限りがあり、満席の場合にはご購入できません。

※ 子供チケットおよび試合カテゴリがプラチナの観戦チケットは定価での提供となります。

※ 6月以降のチケットは、一般発売と同じ販売スケジュールとなります。(毎月25日より翌々月のチケットを発売)



6 楽天証券 楽天証券口座にて当社株式を保有する株主様限定 当社株式購入手数料30%ポイント還元、およびマーケットスピード利用料1年間無料

適用条件: 権利確定日(2014年12月25日)時点で楽天証券口座にて100株(1単元)以上の

当社株式を保有している株主

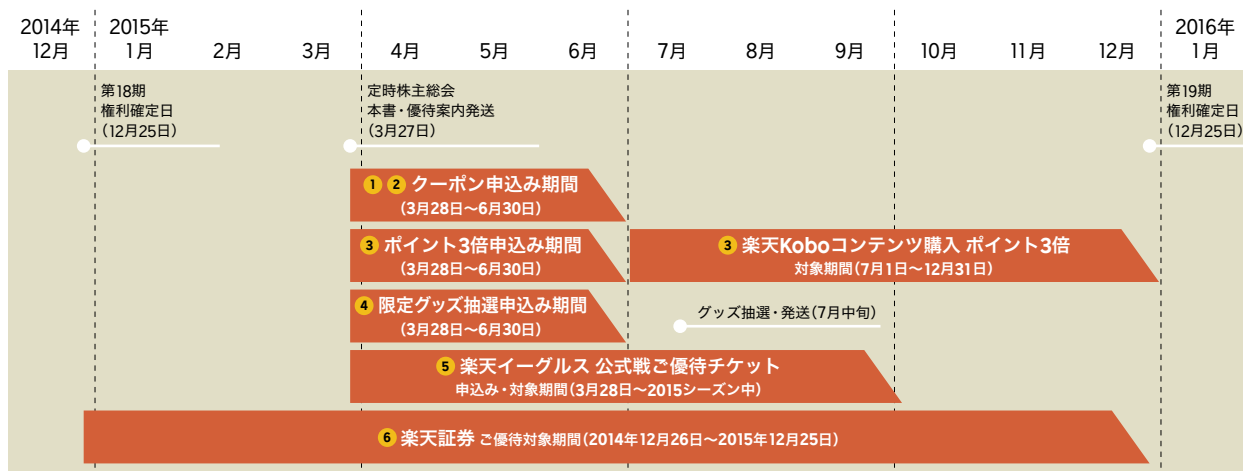
対象期間: 2014年12月26日～2015年12月25日

30%ポイント還元 対象取引: 当社株式 現物買付取引

※ 本優待の対象株主様は自動的に適用となり、お申込み手続き等は特に不要です。



ご優待お申込み・対象期間



※ その他の詳細事項については、株主様専用サイトにてご確認ください。(URL <http://r10.to/kabu>)

ご優待の申し込み方法

STEP 1

お手元に、本書と同封の「第18期 楽天株式会社 株主様ご優待 専用サイトのご案内およびID・パスワードのご通知」をご準備ください。
 なお、**6** 楽天証券の優待は、対象株主様は自動的に適用となり、お申し込み手続きなどは特に不要です。

※ 画像はイメージです。株主様それぞれにID・パスワードをご通知しています。



STEP 2

5 パソコンから、インターネットで
1 ~ **4** 「株主様ご優待 専用サイト」へアクセスしてください。



こちらに
ID・パスワードを
入力してください。

STEP 3

5 イーグルスチケット株主様専用ページより、ご希望の
 試合を選択し、購入ログインページでID・パスワード
 をご入力、ログインの上、ご購入ください。



こちらにID・パスワードを入力してください。

STEP 3



STEP 4

1 ~ **3** 画面の案内にしたがってお申し込みください。

お申込み

完了

お申込み画面で「申し込む」ボタンを押すと、お申込みが完了します。

STEP 4

4 画面の案内にしたがってご応募ください。

ご応募

完了

ご応募画面で「抽選に応募する」ボタンを押すと、ご応募が完了します。

グループ概要

会社概要 (2014年12月31日現在)

会社名	楽天株式会社
設立	1997年2月7日
楽天市場開設	1997年5月1日
株式会社登録	2000年4月19日
東京証券取引所 市場第一部上場	2013年12月3日
資本金	1,116億円
本社	東京都品川区東品川4-12-3 品川シーサイド楽天タワー
従業員数	11,723名(連結)

役員 (2015年3月27日現在)

代表取締役会長兼社長 最高執行役員	三木谷 浩史
代表取締役副社長 執行役員	島田 亨 平井 康文 穂坂 雅之 山田 善久
取締役常務執行役員	小林 正忠 杉原 章郎 武田 和徳 百野 研太郎 安武 弘晃
取締役	Charles B. Baxter 草野 耕一 ^{※1} 久寿良木 健 ^{※1, 2} 吹野 博志 ^{※1, 2} 村井 純 ^{※1, 2} Youngme Moon ^{※1}
監査役	妹尾 良昭 ^{※1} 平田 竹男 ^{※1} 山口 勝之 ^{※1}

※1: 会社法に定める社外取締役および社外監査役

※2: 東京証券取引所の定める独立役員

関連会社 (2014年12月31日現在)

連結子会社	112社
持分法適用会社	9社

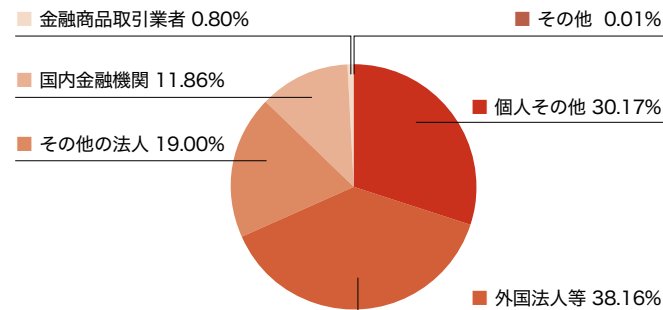
株式の状況 (2014年12月31日現在)

発行可能株式総数	3,941,800,000株
発行済株式の総数	1,328,603,400株
株主数	73,640名

大株主

株主名	所有株式数 (株)	所有比率 (%)
合同会社クリムゾングループ	226,419,000	17.04
三木谷 浩史	176,372,000	13.28
三木谷 晴子	132,625,000	9.98
JP MORGAN CHASE BANK 380055	66,387,404	5.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	39,346,400	2.96
GIC PRIVATE LIMITED	33,743,887	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	31,110,300	2.34
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	23,662,000	1.78
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	22,036,500	1.66
JP MORGAN CHASE BANK 385164	19,991,600	1.50

所有者別分布状況



※自己株式は「個人その他」に含めております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
定時株主総会の基準日	毎年12月31日
単元株式数	100株
公告	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
・郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
・電話照会先	0120-782-031(フリーダイヤル)

楽天株式会社

TEL.03-6387-1111 <http://corp.rakuten.co.jp/investors/>
東京都品川区東品川4-12-3 品川シーサイド楽天タワー 〒140-0002

